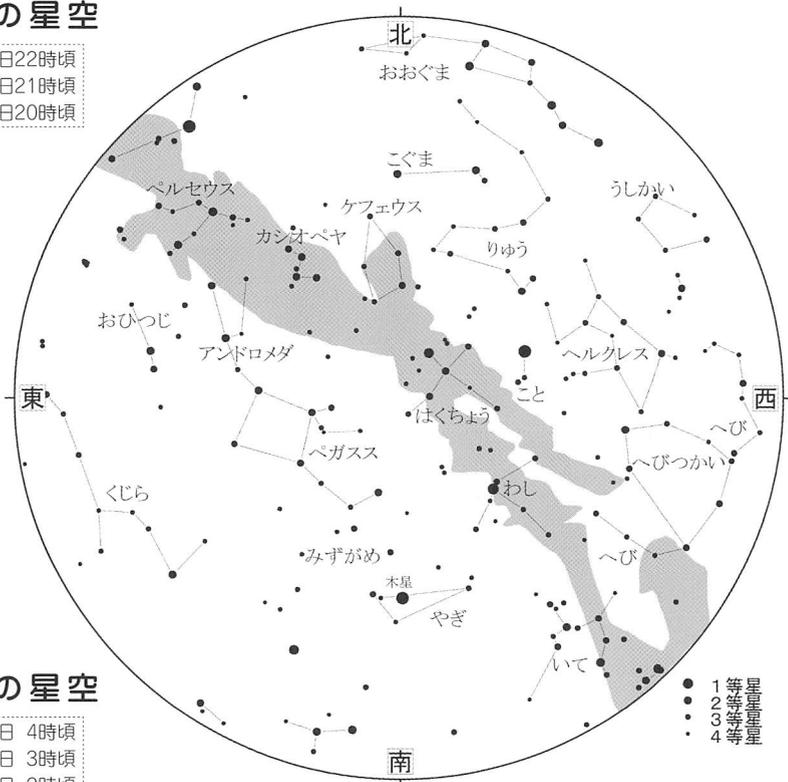




☆星空ガイド 9月16日～10月15日

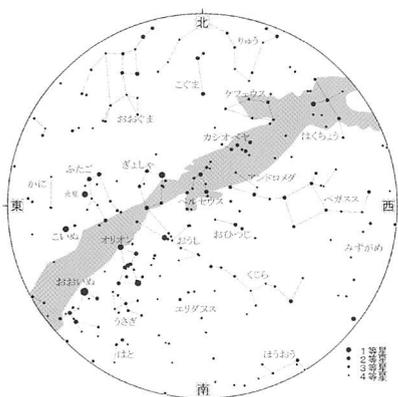
よいの星空

9月16日22時頃
10月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

9月16日 4時頃
10月1日 3時頃
15日 2時頃



【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
9	16	水	5:41	18:04	2:28	16:18	26.7
	21	月	5:44	17:56	8:14	19:00	2.3
	26	土	5:48	17:49	13:09	22:53	7.3
10	1	木	5:52	17:42	15:58	2:43	12.3
	6	火	5:56	17:35	18:24	7:44	17.3
	11	日	6:00	17:29	23:05	12:53	22.3
	15	木	6:03	17:23	2:34	15:22	26.3

※惑星は2009年10月1日の位置です。

<中秋の名月>

今年の中秋の名月は10月3日です。中秋とはいわゆる旧暦の8月15日のことを言います。お月見といえは9月のことが多いですが、今年は旧暦では5月の後に「うるう5月」というものが入ったため、旧8月15日も1ヵ月ほど遅くなり、中秋の名月は10月になりました（なお公式には現在、旧暦という暦はありません）。夏の湿度の高い空気に変わり、秋は大陸の乾燥した空気が流れ込むため、太陽光が散乱されにくくなります。そのため空の透明度が上がり、くっきりとした月が見えるようになります。



ところで「中秋の名月」は、「仲秋の名月」と書かれることもあります。これは、旧暦の8月のことを仲秋と呼ぶためです。一方、中秋とは秋全体の真ん中という意味で旧8月15日を指します。仲秋では8月全体ということになりますので、本来なら「中秋の名月」が正しいということになります。しかし現在では広辞苑でも同じ言葉として記載されており、あまり区別されなくなっているようです。

<天王星が衝>

9月18日には天王星が衝となります。衝とは、地球から見たときに、ちょうど太陽と反対側の位置にくることで、一晩中観測できる観望好機となります。

天王星は1781年、イギリスの天文学者ハーシェルによって偶然発見されました。当初は彗星だと思われていましたが、軌道計算をすると驚くことに円軌道で、また土星のはるか外側を回っていることが分かりました。古代から知られていた惑星の外側にも惑星があったということは、当時の人々に大きなセンセーションを巻き起こしたことでしょう。

天王星の明るさは5.7等級のため、空の条件が良いところで、かつ視力がとてもいい方なら肉眼でも見えるかもしれません。双眼鏡なら比較的簡単に見つけることができるでしょう。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
9	16	水	月が最近
	18	金	天王星が衝
	19	土	●新月(4時) / 土星が合
	20	日	彼岸の入 / 水星が内合
	23	水	秋分の日
	24	木	アンタレス食
	26	土	●上弦(14時)
	28	月	月が最遠

月	日	曜	主な天文現象など
10	3	土	中秋の名月
	4	日	○満月(15時)
	6	火	水星が西方最大離角
	8	木	寒露 / 水星と土星の会合
	11	日	●下弦(18時)
	13	火	月が最近
	14	水	金星と土星の会合

江越 航(科学館学芸員)